

留学先大学 : Université Paris Diderot

留学先での所属学部・研究科 : Lettres et arts, cinémas

留学先での在籍身分 : Licence 3

留学期間 : 2015 年 9 月～ 2016 年 6 月

神戸大学での所属学部・研究科 : 文学部 フランス文学専修

学年（出発時） : 3

本報告書記入日 : 2015 年 11 月 20 日

**出発前**

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

インターネット

留学経験者の先輩方

パリ 7 には留学経験済の先輩方が数人おり、とても心強かったです。

後輩の皆さんには、ぜひ先輩を頼ってください。

遠慮なく質問・相談をしに来てください。応援、サポートします。

**住居について**

- ・住居のタイプ : 大学寮 アパート ホストファミリー その他（具体的に） \_\_\_\_\_
- 住居（寮、アパート）の名前 : Résidence Vaugirard
- ・部屋の種類 : 一人部屋 二人部屋 その他（具体的に） \_\_\_\_\_
- ・ルームメイト : 現地学生 留学生（出身国 : \_\_\_\_\_） その他（具体的に） \_\_\_\_\_
- ・どのように探しましたか。: 大学の斡旋 自分で探した その他（具体的に） \_\_\_\_\_
- ・大学までの通学時間・手段 : 40, 50 分、メトロ、トラム等
- ・住居の周りの環境はどうですか。:

すぐ近くにMONOPRIX（スーパー）があります。日用品から食料品まで、日常生活に必要なものはほとんど揃えることができると思います。比較的安価で、質も決して悪くありません。メトロもトラムも近くにあります。15 区はパリの中で一番子供が多い地区といわれるほど治安がよいようです。不便に感じることは特に思いつきません。

- ・毎日の食事はどうしていますか。:

自炊をしています。物価は日本より高いです。豚肉が安く、鶏肉が高い。野菜は全体的に少し高め。という印象を受けます。お米は簡単に見つけることができます。値段も500g 150円くらいなのでさほど変わりません。鍋でご飯を炊いていますが、炊飯器よりも早く、うまくいけば普通においしく食べることができます。外食は安くても日本の2倍はするのが普通です。日々節制して、たまの楽しみに外食に出かけています。

- ・住居は渡航前に、または渡航後すぐにみつかりましたか。トラブルはありませんでしたか。:

渡航前に大学寮への入居許可が出ました。渡航前に寮に入ることは相当難しいと聞いていたので、少し住居を探しました。しかし、先輩方のお話を聞くと、少なくともここ 2 年はみなさん寮に入られたようです。今回も同じです。同じタイミングで留学したほかの子も大学近くの寮に入ることができました。

**大学の授業について****1. 履修登録について**

- ・履修登録の時期 : 出発前 到着後
- ・履修登録の方法 : On-line International Office 等の仲介 その他（具体的に） 書類提出 \_\_\_\_\_
- ・登録時に留学生として優先・配慮されることありましたか。: 無し 有り
- ・優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

出発前に、一度履修したい科目を仮登録します。過度に悩む必要はありません。この仮登録は留学後に変更が可能で、実質、何の機能も果たしていないとの説明を受けました。どのような科目があるのかなという予習程度だと思ったほうがよさそうです。留学後、実際にシラバスや時間割を見て、授業に参加してからでないと履修科目

- ・希望通りの授業が履修できましたか。: はい いいえ
- ・希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

希望通りの授業が履修できなかったというわけではないのですが、学部生の語学レベルで、現地の正規学生と同じ授業を受けるのはとても難しいです。どのような授業を受けるにしても、第一に必要となるのは語学力です。希望する分野に固執することなく、語学習得のためにどのような授業が役に立つかを考えて柔軟に授業を選ぶこ

**2. 現在までに、履修している授業について記入してください。**

| No. | コース名                                     | 教授名              | 時間数<br>／週 | 留学先<br>での単<br>位数 | 履修し<br>ている<br>学生数 | 予習、復習、テスト等についてアドバイスも<br>含めて教えてください。  |
|-----|--|------------------|-----------|------------------|-------------------|--|
| 1   | Grammaire niveau4                        | Anne le Corre    | 2h        | 2                | 25-30             | 留学生向けの文法の授業です。専用の冊子で授業を進めます。普通に勉強していればテストで失敗することはありません。  |
| 2   |  | Anne le Corre    | 2h        | 2                | 25-30             | 留学生向けの書きの授業です。専用の冊子で授業を進めます。普通に勉強していればテストで失敗することはありません。  |
| 3   | Initiation à l'écrit universitaire       | Jeanne Bacharach | 3h        | 4                | 20-25             | 正規課程1年生必修のレポート書き方講座のようなものです。1年生向けとはいえない留学生にはかなり難しいです。クラスの礼数あり、先生によって授業の方針や課題が大きく異なるようです。私のクラスの先生は留学生に対して専用の課題、成績評価基準を設けてくれました。また、ネット上でorthographeについて練習を行い、この結果が成績評価の25%を占めます。 |
| 4   | Pratiques et méthodes d'analyse filmique | P.Berthomieu     | 3h        | 4                | 30-40             | 映画の映像や音楽、撮影技術についての講義です。授業中に映画を見ることができます。専門用語がたくさん使われるので、それさえ理解できれば何について話していくのかぼんやりと分かるようになります。正規学生は中間テストと期末レポート、留学生は期末レポートのみで評価されます。   |
| 5   |  |                  |           |                  |                   |  |
| 6   |  |                  |           |                  |                   |  |
| 7   |  |                  |           |                  |                   |  |
| 8   |  |                  |           |                  |                   |  |
| 9   |  |                  |           |                  |                   |  |
| 10  |  |                  |           |                  |                   |  |

**3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等**

フランス語の授業に関しては問題ありません。前置詞、冠詞、大過去、接続法、条件法 etc. 文法用語をフランス語でなんとか事前に覚えておくことが大切です。正規課程の授業については、留学生にとって簡単だとは言えません。つらい時間を過ごすことになる人もいるかもしれません。聞こえてきた単語を書き止め、辞書で調べる。この繰り返しがほとんどです。しかし、この繰り返しによって、少しづつ、授業の内容が分かり始めます。身につけておくべきことは、発音規則です。発音規則がしっかり身についていなければ、先生の口から発せられた音がどのようなつづりになるのか予想できず、辞書で調べることができません。普段から発音を意識して勉強をすることが大切です。それと合わせて、はっきりとした口調で聞き取りやすいフランス語を話す先生を選ぶことも重要です。

**一週間のスケジュール (授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。)**

|       | 月        | 火     | 水        | 木     | 金     | 土     | 日     |
|-------|----------|-------|----------|-------|-------|-------|-------|
| 8:00  |          |       |          |       |       |       |       |
| 9:00  | 9-12:00  | 自主学習等 | 9-12:00  | 自主学習等 | 自主学習等 | 自主学習等 | 自主学習等 |
| 10:00 | 授業       |       | 授業       |       |       |       |       |
| 11:00 |          |       |          |       |       |       |       |
| 12:00 |          |       |          |       |       |       |       |
| 13:00 |          |       |          |       |       |       |       |
| 14:00 | 13-15:00 |       | 13-15:00 |       |       |       |       |
| 15:00 | 授業       |       | 授業       |       |       |       |       |
| 16:00 |          |       |          |       |       |       |       |
| 17:00 |          |       |          |       |       |       |       |
| 18:00 |          |       |          |       |       |       |       |
| 19:00 |          |       |          |       |       |       |       |
| 20:00 |          |       |          |       |       |       |       |
| 21:00 |          |       |          |       |       |       |       |
| 22:00 |          |       |          |       |       |       |       |

**現在までの感想　自由に記入してください。(800字~)**

しばしば留学に来た意味が本にあるのだろうかという想いが頭の中をめぐります。決して暗い気持ちではなく、単なる疑問です。もちろん、パリの街は文化的に数多くの魅力を持っていて、何も考えずに過ごしたとしても有意義な留学経験になると私は思います。しかしそれでも、どのようにこの1年を過ごして、自分が何を獲得できるかということを常に意識しながら生活しています。自由な時間が多いためこそ、どううまく利用するかを試しているなど感じます。

パリの人々は一見冷たいように見えますが、たとえば何か困ったことがあると非常にやさしく接してくれます。人と人との距離が近いと思います。留学生としてパリに生活していると困ったことだらけなのですが、周りの人のやさしさに助けられ、問題なく生活を送っています。こちらが Merci ありがとうございます というと、多くの人は C'est normal 普通のことだと答えてくれます。定型句として使われているのかもしれません、毎度毎度 このやさしさは日本では普通じゃないな と感じます。日本人は「日本人の人ってやさしい 落とした財布だって返ってくるんだよ」などとよく言いますが、道端で困っている・困っているように見える人に対して、まるで親戚のような距離感で手を差し伸べたりしないでしょう。そういう"やさしさ"についてはフランス人のほうがあたたかいのかなと感じています。

日本人がいかに世界を知らないか ということに気づかされます。ヨーロッパ大陸の一部であるフランスで起きる社会問題は、島国である日本での問題と大きく異なるのだということを認識しました。日ごろ日本で生活していると、(特にここ数年は)日本ってすばらしい、日本のこういうところがだいすき！ という情報ばかり受け取っていて、どういうところがダメなのかつかみ取りにくいように思います。フランスでの生活で、今まで見えてこなかった問題や、日本の生活や社会に活かせる何かを発見できることを期待しています。

先日、パリ市内で同時多発テロが起きました。少しづつ普段の生活に戻りつつあるように思いますが、不安を完全に消し去ることができません。生まれて初めてこのような深刻な脅威にさらされ、戸惑っています。できるだけ外出を控えるようにしようとを考えていたのですが、街全体が「テロに屈するな」、「テロにおびえて娯楽を控えることはテロに屈することと同じだ」という力に満ちていて、劇場や観光施設はわずか数日で営業を再開しました。多くの人がそれぞれの生活を、テロリストによる恐怖の支配から奪い返しています。安全の確立よりも先に、気の持ちようから立ち直すというやり方は荒療法がすぎるのではないかと納得のいかない気持ちもありました。いくらテロに屈するなどという思いがあっても、むやみに街に繰り出し、命を落とすことになれば、そうした気概は何の意味も持たないと思ったからです。しかし、パリ市民、あるいはフランス国民にとって、劇場や美術館などで提供される芸術や、バー、レストランなどの憩いの場、住民が和やかに言葉を交わし合うその空間はわが身を奮い立たせて守るべき「文化」なのです。日本人とは比べ物にならないくらい、フランス人は文化や芸術に対する興味・熱意をもっています。

私にとって、美術館に足を運ぶことも今回の留学の楽しみの一つでした。特に現代美術が好きで、国立近代美術館、ポンピドゥーセンターの作品をいつでも無料(留学生を含め、フランスで学ぶ学生は学生証を提示すれば常設展が無料です)で鑑賞できることを非常にうれしく思っています。(学生証の提示で多くの美術館が無料、もしくは割引が適用されます。)

日本で「現代美術が好き」と言うと、「現代美術ってわかんない」と答える人が少なくありません。私はその言葉を聞くたびに、理由のないさみしい思いを感じていました。しかし、パリの学生に現代美術が好きだということを告げると、「あ、そうなの？私は○○がすきなの。知ってる？」、「私はダダイスムの作品が好き！」、「現代美術ならどこどこの美術館に行くといいよ。それとここもおすすめ。」などとたくさんの言葉が返ってきます。感動しました。しかも、日本人にありがち(だと私は思っているのですが)な気取りは全くありません。彼らにとって芸術は生活にぴったりと寄り添っているもので、芸術に興味があるからと言ってその人自身が高尚だとか、上品だとか、そういう驕りがないように感じます。もちろん人によるのでしょうかが、日本よりは気取っている人が少ないのではないでしょうか。しばしば、フランス人のこうした姿勢にハッさせられます。

フランス人のこうした「素直」な姿勢、「素直」なやさしさは、日本の生活がいかに窮屈なものであったかということを教えてくれます。損得勘定も駆け引きもなしのまっすぐな姿勢を見習いたいと思います。